

漁業協同組合員の力で外来魚ゼロへ！

コクチバス捕獲マニュアル



岐阜県水産研究所

目 次

| | | |
|------|----------------|----|
| I. | はじめに | 2 |
| II. | コクチバスの習性 | 3 |
| 1. | 生息 | |
| 2. | 産卵 | |
| 3. | 性格 | |
| III. | 習性に合わせた捕獲 | 8 |
| 1. | 親魚を狙った産卵場での刺し網 | |
| 2. | 淵での刺し網 | |
| 3. | 見えバスを狙った刺し網 | |
| 4. | 見えバスを狙った釣り | |
| IV. | その他役立つ情報 | 27 |
| 1. | 産卵床の見つけ方 | |
| 2. | オオクチバスとの見分け方 | |

I. はじめに

水産研究所では、電気ショッカーや船を使わずにコクチバスを捕獲する方法について、調査を進めています。

これまでの調査結果をもとに、現時点で最も効果的と考えられる捕獲方法をまとめました。是非、参考にしてください。

ショッカーボートの駆除効果は高い！
でも・・・
維持費も人手もかかるし、船舶免許も
必要...

もっと簡単に効率よく駆除したい！



II. コクチバスの習性

1. 行動：流れが緩やかな場所を好む。 体の大きさによって行動が変化。

- ・ 水通しの良い場所を好むが、瀬のような強い流れではなく、淵のような緩やかな流れの場所を選ぶ。

【全長25cm程度まで】

- ・ 隙間のある大岩や頭大の石が集まったゴロタ場、テトラなどの構造物の近くにいることが多く、驚くと構造物の隙間に逃げ込む。

【全長25cmを超えると】

- ・ 構造物への依存が減り、淵の中を回遊する。
- ・ 驚くと泳いでその場から離れる

【季節による変化】

- ・ 梅雨明け頃から岸近くでもよく見られる。
- ・ 8月下旬から当歳魚も確認できる。
- ・ 水温が下がる10月頃からは、目視での確認が困難。



回遊している大型魚



当歳魚

II. コクチバスの習性

2. 産卵：5~6月に特定の場所で産卵し、オスが卵を守る。

【産卵（5~6月）】

- ・産卵期は水温が15°Cを超えてから始まり、盛期は5~6月。
- ・水深約1mの、流れが緩やかな砂礫底を好む。

【産卵場所の特徴】

- ・川では淵尻付近の川岸や、流れがぶつかるテトラ・大岩の裏側。
- ・ダム湖では遠浅のワンド内でよく確認される。

【産卵行動】

- ・オスが砂や泥を除き、直径約50cmの浅いすり鉢状の産卵床を作る。
- ・産卵後、オスは外敵から卵を守る。
- ・産卵床の中心には3~5cm程度の小礫が集まっていることが多い。
- ・産卵床周辺には大石や流木などの障害物がある場合が多い。

II. コクチバスの習性



淵尻の川岸にできた産卵床
(黄色破線内)



産卵行動中の雌雄
(黄色破線内)

Ⅱ. コクチバスの習性

3. 性格：警戒心が強く、学習能力が高い

- ・ 刺し網で初回に多く捕れた場所でも、連続して仕掛けると、コクチバスが残っていても捕れないことがある。
- ・ 刺し網を警戒して止まる個体や、川底と網の隙間をすり抜ける個体がいる。
- ・ 30cm以上の大型個体は特に警戒心が強く、複数尾いる場所で1尾釣ると、残りはほとんど釣れなくなる。
- ・ コクチバスとオオクチバスが同じ場所にいる場合、釣りではオオクチバスが先に掛かる傾向がある。
- ・ 産卵床を守るオスも、人が岸に近づくと巣を放棄して沖へ逃げる。ただし、騒がなければ約5分で戻り、保護を再開する。

Ⅱ. コクチバスの習性



大型のコクチバスは警戒心が強い。

コクチバスが優占する淵で一番最初に釣れたオクチバス



ダム湖で水深が浅くなったため放棄された産卵床
※産卵床への執着心はオオクチバスと比べると弱い

Ⅲ. 習性に合わせた捕獲

- ・ コクチバスの習性を活用することで、効率的な捕獲が可能。
- ・ 具体的には**5～6月の産卵期には産卵場で親魚を捕獲し、コクチバスが活発に動き、人も川で活動しやすく夏季には刺し網や釣りで捕獲を行います。**
(次ページの表を参照)



刺し網による捕獲

釣りによる捕獲



III. 習性に合わせた捕獲

Ⅲ. 習性に合わせた捕獲

1. 親魚を狙った産卵場での刺し網

方法

- ・ 淀尻の岸等、コクチバスが産卵床を作りそうな場所を踏査し、目視確認する。
- ・ 産卵床、または30cm以上の大型のコクチバスを確認できれば、その周辺が産卵適地と判断する。
- ・ 水深90-100cm程度の場所で、産卵適地とその沖側を仕切るように、刺し網を縦（流れの向き）に張る（図1, 2）。
- ・ 刺し網の上流端は、沈子と浮子を2m程のヒモで結んだ流れ止めを沈め、浮子部に刺し網上流端を結び、刺し網が流れで倒れないようにする（図2参照）。
- ・ 張る時間は昼間のみで良い。

III. 習性に合わせた捕獲

1. 親魚を狙った産卵場での刺し網



図1 刺し網を張るイメージ（外側からのイメージ）

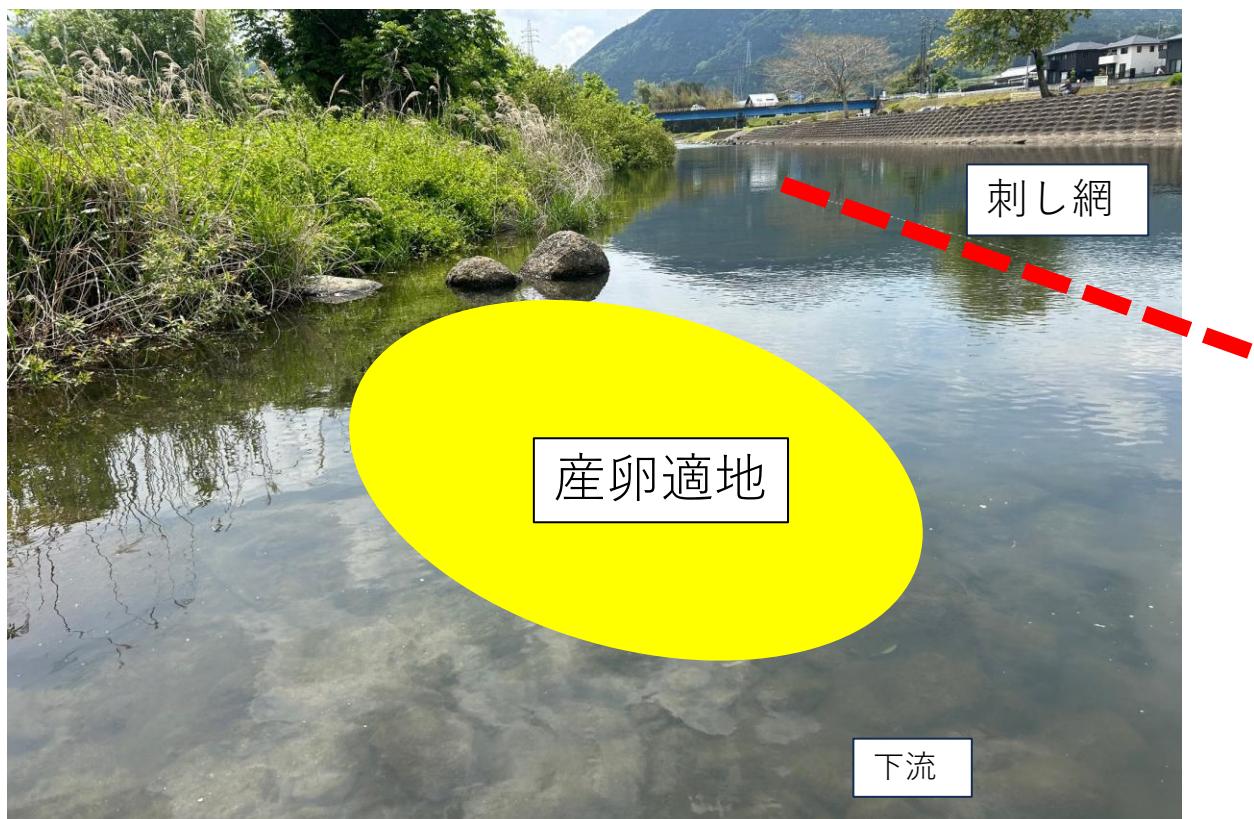


図2 刺し網を張るイメージ（内側からのイメージ）

Ⅲ. 習性に合わせた捕獲

2. 淀での刺し網

方法

- ・ 障害物が多い側の淀尻の駆け上がりに沿って刺し網を縦（水流の向き）に張る（両側とも障害物がある場合は両岸に張ってもよい）。
- ・ 張る時間は網に付着するゴミや藻類の量を考慮して決める。
- ・ 水深が3mまでの浅い淀では、チェストハイウェーダーで入れる90cm程度の駆け上がりから刺し網を張る。
- ・ 水深4m以上の淀では、ウェットタイツを着用し、水深2m程度の位置から網を張った方がよい。
- ・ 浅い淀ならば、最深部に沿って網を入れる方法も可能。
- ・ 深い淀では、仕掛け時に危険が伴い、川底の障害物に網が引っ掛かると回収不能になる恐れがあるため、船を使った方が安全。

III. 習性に合わせた捕獲

2. 淫での刺し網

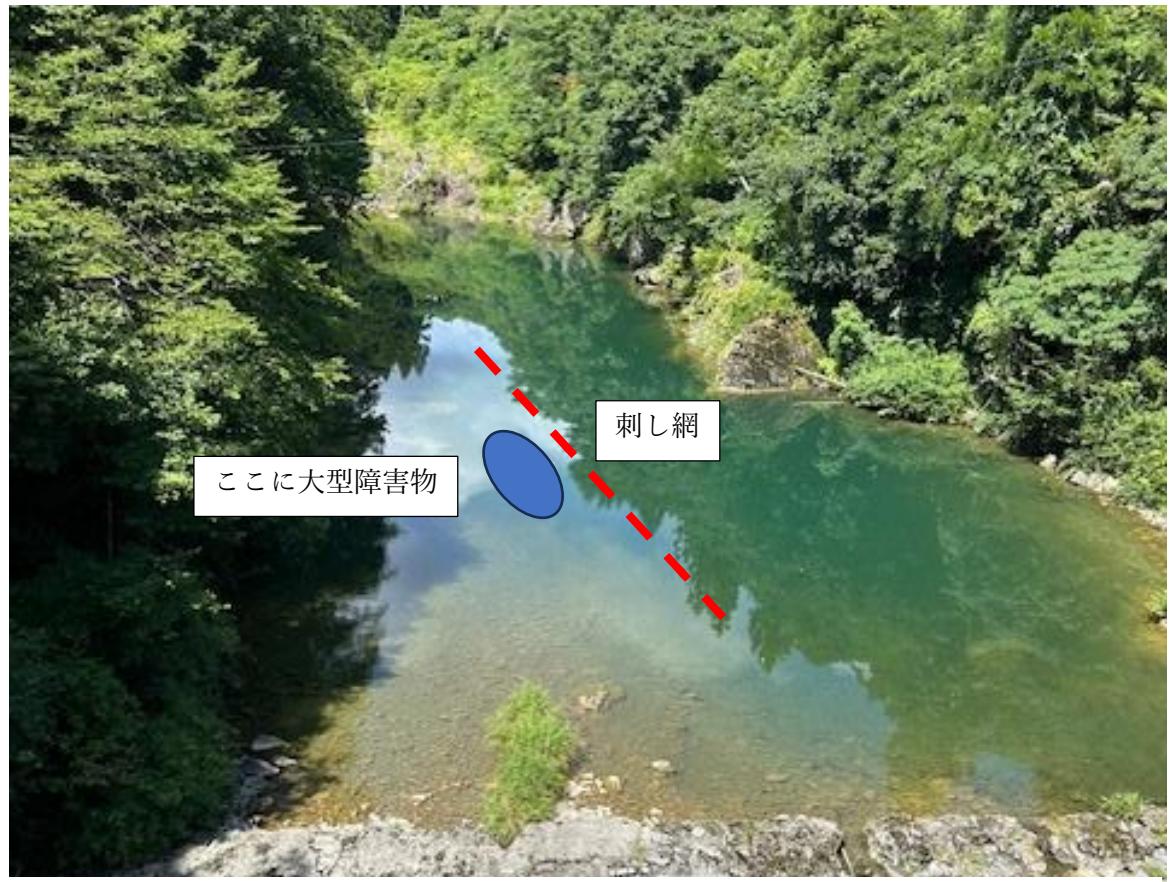


図1 淫での刺し網を張るイメージ（上からのイメージ）

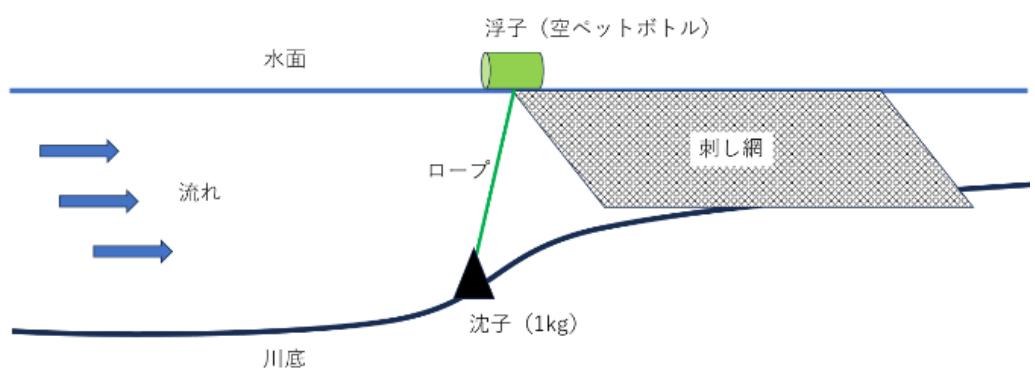


図2 淫での刺し網を張るイメージ（横からのイメージ）

Ⅲ. 習性に合わせた捕獲

3. 見えバスを狙った刺し網 方法

- ・ 岸から見えるコクチバス（見えバス）を狙い、通常は張って待つ刺し網を積極的に動かして捕獲する方法。
- ・ 見えバスが多く、入川が容易な夏場の暑い時期には効果的。
- ・ 捕獲する場所に応じて、いくつかの方法がある。

(次ページの表を参照)



III. 習性に合わせた捕獲

3. 見えバスを狙った刺し網

| 名称 | 必要人数 | 場所 | 備考 |
|--------------|------------------|---|----------------------------|
| (1)地曳網式 | ・ 3名 (4名以上推奨) | ・両岸は人の歩ける深さ(1.5mまで) ・最深部でも2m程度の淵やトロ瀬 ・川幅は25mぐらいまで | 規模が小さい川で、見えるバスがいるのなら、有効な方法 |
| (2)巻き網式 A | ・ 2名 (3名以上推奨) | ・川底が平坦 ・人が立って網を巻くことができる浅場がある | |
| (3)巻き網式 B | ・ 2名 (3名以上推奨) | ・川底に障害物が多く、巻き切ることができない場所 ・バスが川岸テトラの中に逃げている場合 | テトラの中に逃げ込んだバスに有効な方法 |



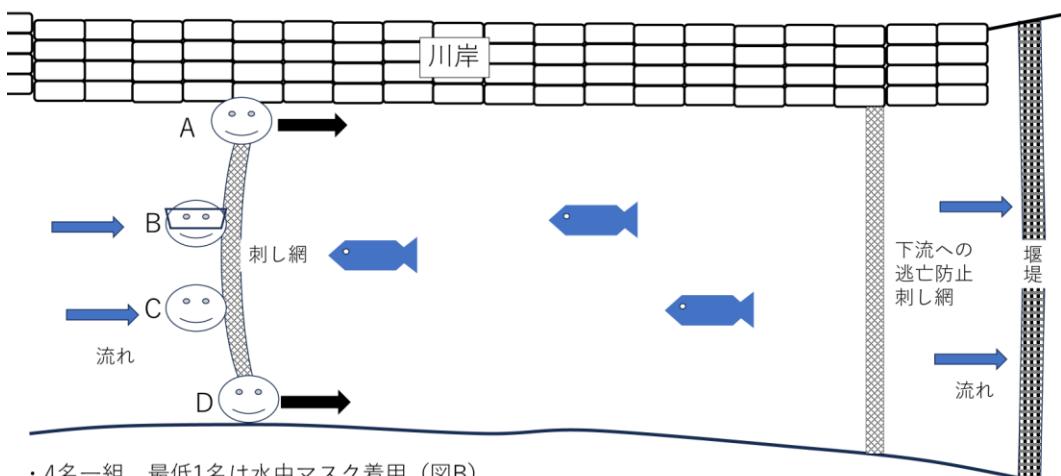
Ⅲ. 習性に合わせた捕獲

(1) 地曳網式

方法

- 実施は最低3名で可能だが、川底への引っ掛け等を考えると、4名で行う方が効率的。
- 刺し網を横（流れと並行）に張り、両端を2名がゆっくり下流へ曳く。
- 岩や流木に引っ掛けた場合は、残りの1~2名が外す。その際、潜ることがあるため、水中マスクが必要。
- 最後は、片側の岸まで網を巻き取るか、下流にも横網を張って挟むかの方法を取る。

刺網を使った地曳網のイメージ



- 4名一組、最低1名は水中マスク着用（図B）
- AとDがゆっくり下流方向へ網を曳いていく。
- BとCは川底の石や木に網が引っ掛けたら外す。
- 途中魚が掛かった時はBとCが網から外す（友舟を用意しておく）。

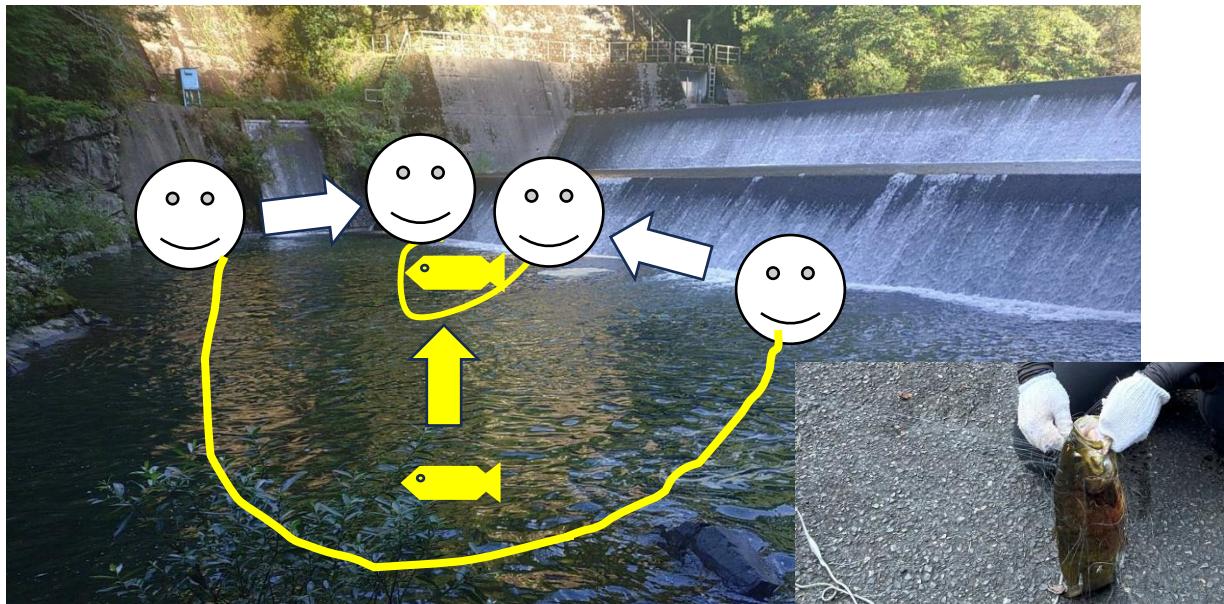


III. 習性に合わせた捕獲

(2) 巻き網式A

方法

- 2名でも可能だが、3名で行う方が効率的。見えバスを囲むように刺し網を張る。
- 囲いを徐々に狭め、バスを追い込み刺し網にかける。



(3) 巻き網式B

方法

- 2名でも可能だが、3名で行う方が効率的。
- 見えバスを囲むように刺し網を張る。
- 囲いの中で潜水し、バスを刺し網に追い込むか、直接捕獲する。
- 川岸がテトラの場所では特に有効



○刺し網の注意事項

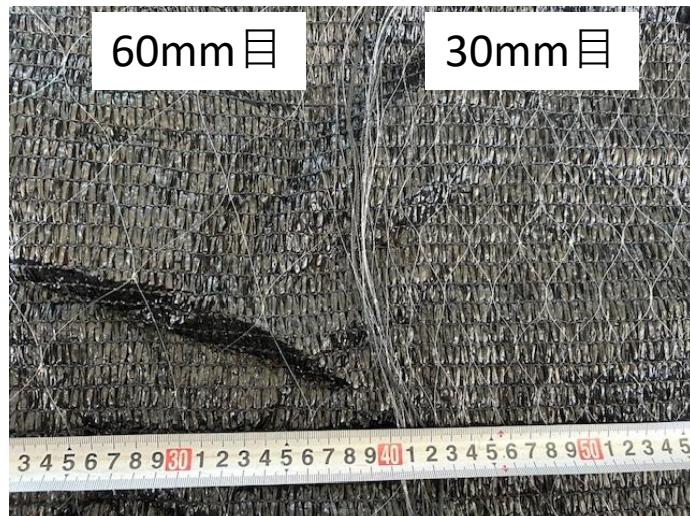
- ・ 水産研究所では、目合い30mmと60mmの2種類の刺し網を使用。

【目合い30mm】：サイズを問わず捕獲できるが、40cm以上の大型魚は掛かりが浅く外れやすい。

【目合い60mm】：30cm以上の大型魚に効果的だが、20cm以下の小型魚はすり抜ける。

- ・ コクチバスは川底に沿って移動するため、刺し網は川底に張るように設置する。
- ・ 大型魚は昼間に、小型魚は夜間（朝夕を含む）に捕獲される傾向がある。
- ・ 夜間の刺し網は昼間に比べ、他魚種の混獲が多くなるため注意が必要。
- ・ 夕立による増水で網にゴミが絡み、使用不能になる恐れがあるので、事前に天気予報を確認しておく。

○刺し網の注意事項



○目合い60mm (写真左側)

- ・ 25~30cm以上の大型のバスに向く
- ・ 他魚種の混獲が少ない

○目合い30mm (写真右側)

- ・ サイズ間わず捕獲できるが、40cm以上の大型魚は掛かりが悪い
- ・ 他魚種の混獲も多い



混獲された他魚種
(ニゴイ等)



夕立による急な増水
によって、ゴミだらけになった刺し網

III. 習性に合わせた捕獲

4. 見えバスを狙った餌釣り

- ・ コクチバスは、もともと釣りを楽しむ目的で日本に持ち込まれた経緯がある。警戒心は高いが、餌に対して貪欲で、比較的釣りやすい一面がある。
- ・ 特に、見えバスを狙った餌釣りは仕掛けが単純で、リールを使った釣りの経験があれば誰でもできる。
- ・ 釣り方や餌は、全長30cm前後を境に少し異なる。

(1) 大型魚用(30cm~)

(2) 小型魚用(~30cm)



エビ餌での釣果

III. 習性に合わせた捕獲

(1) 大型魚用(30cm~)

- ・ リール竿を使用し、小魚（ウグイ、カワムツ等）やテナガエビを餌にして釣る。道具類は次ページの表1を参照。
- ・ 見えているコクチバスの前に餌を泳がせる、または、送り込む。
- ・ 全長40cmのコクチバスなら、全長20cmまでの魚を餌にできる（次ページの表2）。
- ・ 餌の小魚は、練り餌を使ったウキ釣りで入手可能。小魚が見える場所なら、餌作りの時間含め、小一時間で十分な数が釣れる。
- ・ テナガエビは小魚より嗜好性が高いが、当日の現地調達は難しいため、事前に釣りなどで入手しておく必要がある。

Ⅲ. 習性に合わせた捕獲

(1) 大型魚用(30cm~)

表1 使用する道具

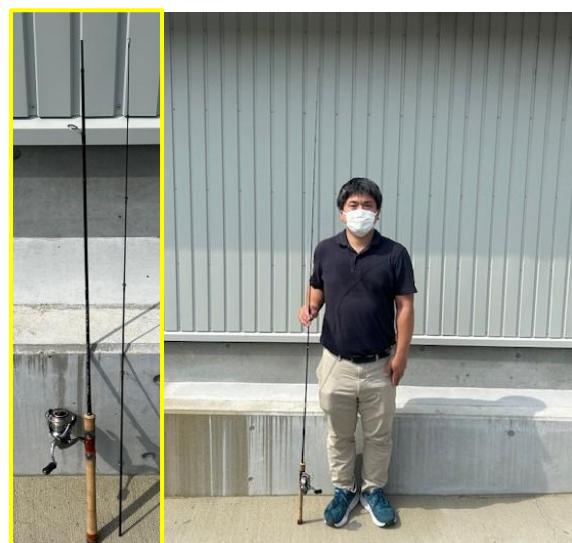
| 竿 | リール | ライン | 針 |
|---|------------------------|-------------------------------------|---------------|
| 7~8ft(約2.1m)以上のルアーロッド (トラウトロッド、硬めのメバルロッド等) | スピニングリール(2000番から3000番) | ・道糸:PE0.6-1号 ・ハリス:フロロカーボン1~2号ぐらい | ワーム用のマス針#1-6等 |

※基本的にオモリは不要だが、トロ淵等流れがある場所では、コクチバスが深みにいるため、ガン玉等のオモリを使いコクチバスの目の前に餌を沈める。

表2 餌のサイズと釣れるコクチバスのサイズの関係

| 釣れるコクチバスの全長 | 40cm | 35cm | 30cm |
|-------------|-------|-------|-------|
| 餌の小魚の全長* | ~20cm | ~17cm | ~15cm |

※ウグイのような体高の低い魚の場合



竿とリール
(約2.1m・2500番)



餌のウグイ
(背掛け)

(2) 小型魚用 (~30cm)

- 道具は餌に合わせて針のサイズが小さくなる程度で、大きな違いはない。詳細は次ページの表1を参照
- 餌はスジエビ（商品名：モエビ）、ミミズ、川虫などの活餌。特にスジエビはコクチバスの嗜好性が高く、最もおすすめ。
- シマミミズは入手が容易だが、コクチバスの嗜好性は低い。
- 見えているコクチバスの前に餌を送り込む。
- 餌を食べたら少し待ってアワせる。
- 全長15cmぐらいまでなら延べ竿（次ページ表1）のミヤク釣りでも釣れるが、大型が掛かると取り込みが難しい。

III. 習性に合わせた捕獲

(2) 小型魚用 (~30cm)

表 使用する道具

| 竿 | リール | ライン | 針 |
|--------------------------------------|-------------------------|---|--------------|
| 7ft以上のルアーロッド (トラウトロッド、固めのメバルロッド等) | スピニングリール (2000番から3000番) | ・道糸: PE0.6-1号 ・ハリス: フロロカーボン0.8~1.5号ぐらい | ワーム用のマス針#4-6 |
| 延べ竿5.3~7.0m | — | ・ナイロンかフロロカーボン0.8~1号 | ・溪流用やチヌ・グレ針 |

餌の付け方



エビ (尾部をちょん掛け)



小さい場合2尾掛けでもOK



シマミミズ



トビケラ等の川虫も現地調達可能な餌として有用。ただし、コクチバスの嗜好性はミミズと同じ程度で高くない。

III. 習性に合わせた捕獲

○餌釣りの注意事項

- ・ 見えているコクチバスが餌に反応しなくなったら、その場で粘らず場所を変える。
- ・ 岸に人の気配を感じると警戒心が高まるため、できるだけ静かに釣る。
- ・ 小魚を餌にした泳がせ釣りでは、食いついてもすぐアワせず、完全に飲み込むまでじっくり待ってからアワせる。
- ・ 見えバスがいない場合、水通しの良い障害物が多い場所で釣る。アタリがなければ場所を移動する。
- ・ ルアー釣りは餌の入手に困らない反面、餌釣りよりも釣果が明らかに落ちる。また、釣り人による釣果の差が極端に大きい。



ルアー釣りは小魚・エビを使った餌釣りに比べ、明らかに釣果が落ちる。



Ⅲ. 習性に合わせた捕獲

○餌の入手について

- ・ 活きエビは、県内の大型釣具店で取り扱っている。ただし、入荷していない場合もあるため、事前に電話で確認することをおすすめする。
- ・ 愛知県の大型釣具店でも活きエビを取り扱っており、小型ウグイを販売している店舗もある。
- ・ 活きエビはおおむね40gで500円（税別）。釣果によるが、1名で5~6時間釣るには十分な量。
- ・ ミミズで大型を狙う場合、シマミミズより大型のドバミミズがおすすめ。ただし、おおむね1箱で750円（税別）と高価で、内容量は約8尾と少ない。



釣りの餌（左：スジエビ 右：ウグイ）

IV. その他役立つ情報

1. コクチバス産卵床の見つけ方

【準備品】：偏光グラス、帽子、長靴、ウェーダー

【時期】：5～6月頃（産卵期）

【調査場所】

- ・川の場合は、淵尻の川岸や、テトラポッドの水衝部裏側など、流れが緩やかな場所
- ・ダム湖の場合は、遠浅のワンド

【条件】：水深50～100cm程度で、底質は砂礫底。大きな石などの障害物がある場所は特に注目

【産卵床の特徴】

- ・直径約50cmで、不自然に白くなっている。
- ・中心に直径3～5cm程度の小礫が集まっている。

【確認方法】

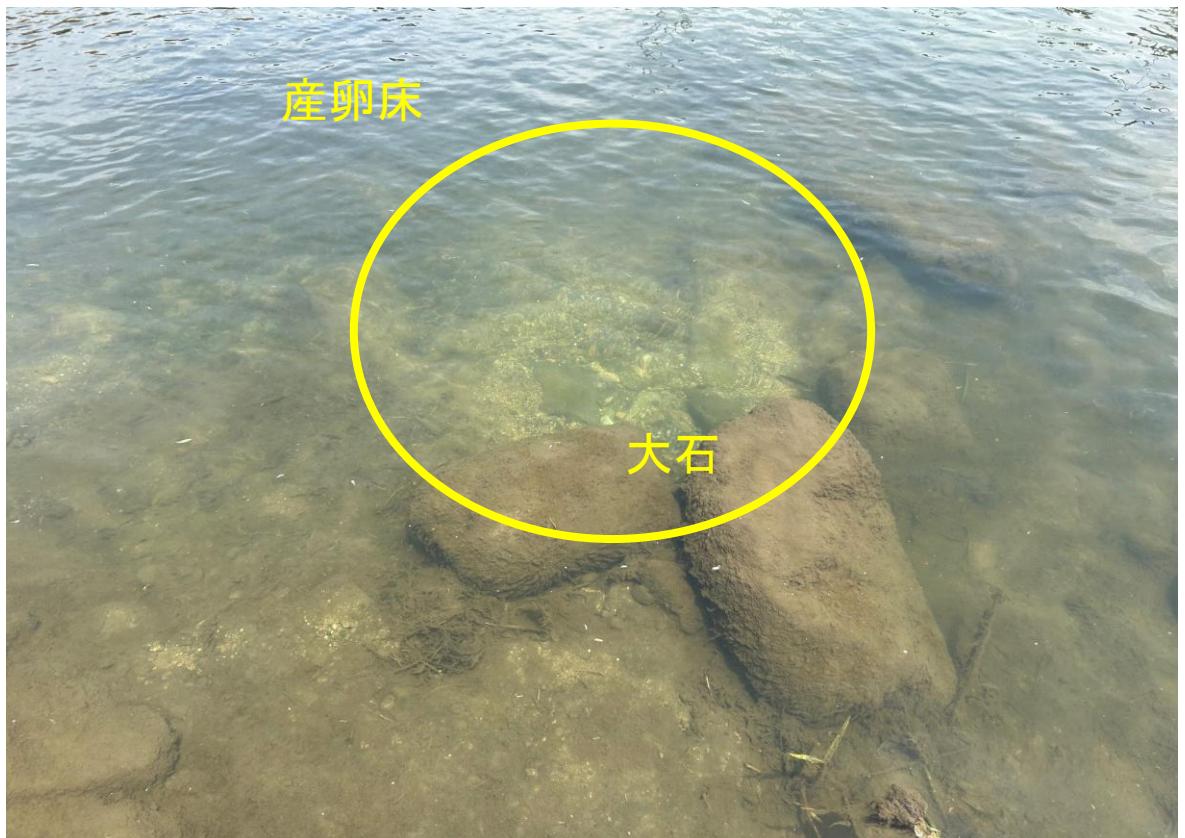
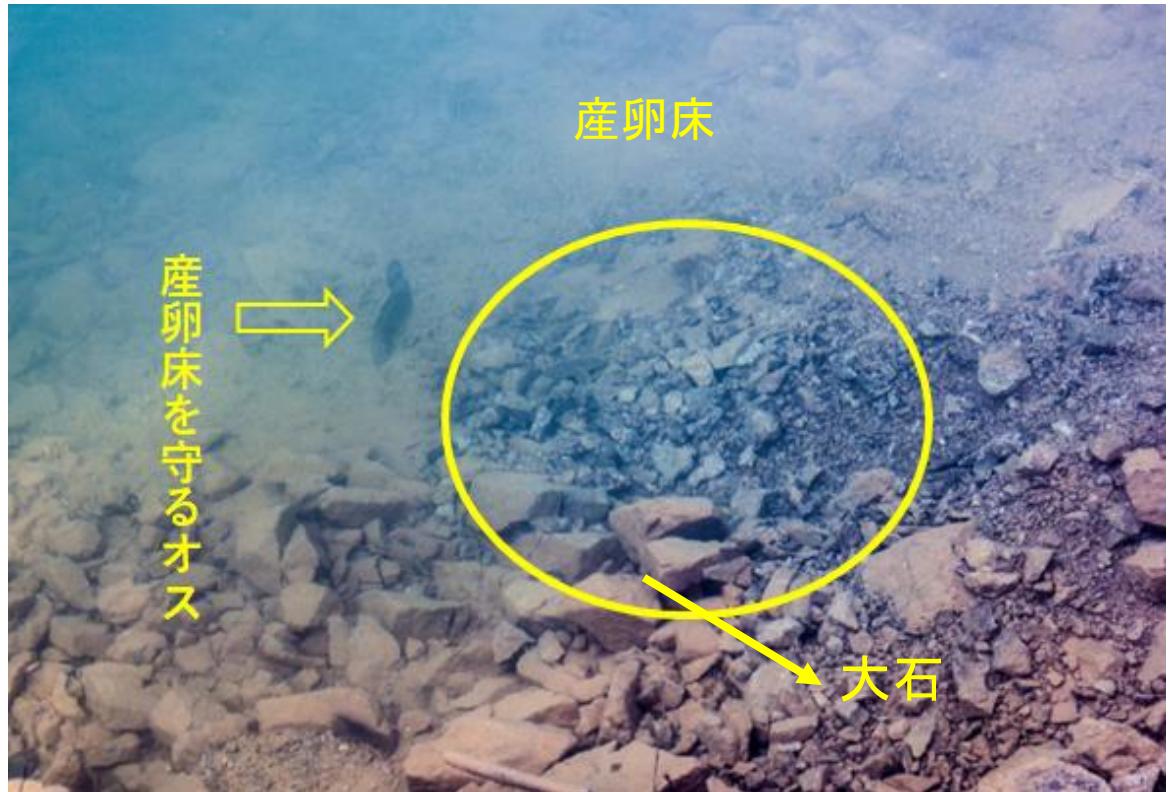
- ・その周辺に、体長25cm以上のコクチバスが泳いでいれば、産卵床と判断できる



産卵床探索の様子

1. 産卵床の見つけ方

典型的なコクチバスの産卵床（黄色丸内）



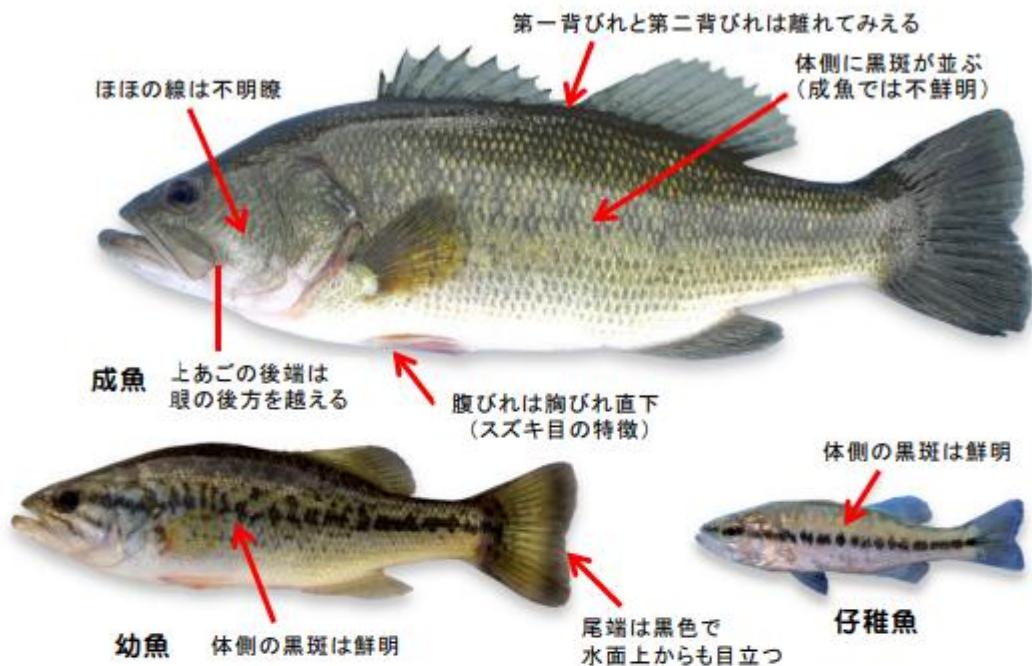
IV. その他役立つ情報

2. オオクチバスとコクチバスの見分け方

オオクチバス

Micropterus salmoides

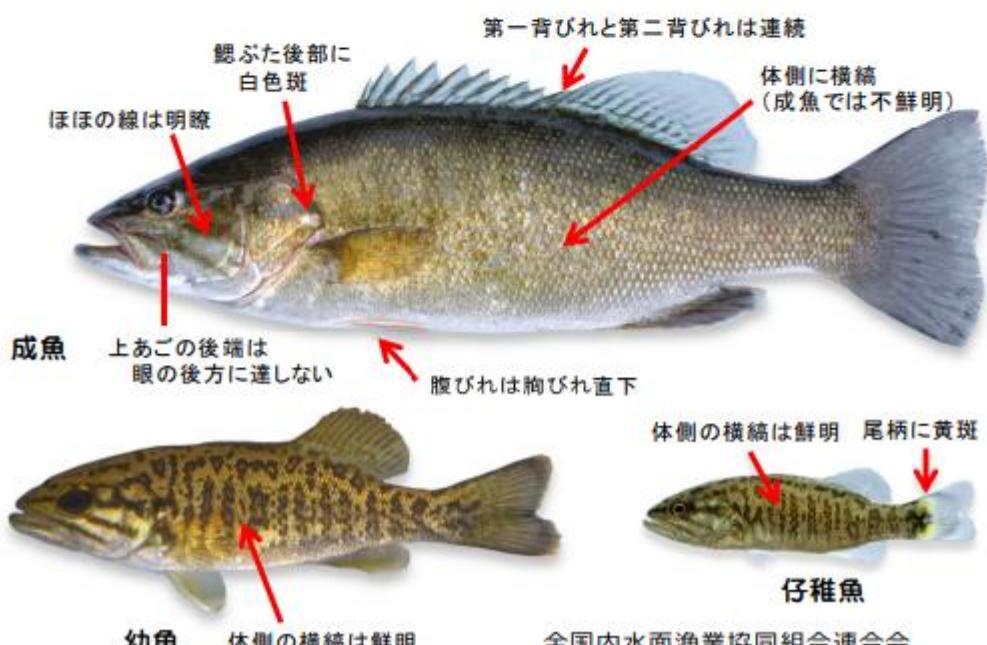
サンフィッシュ科



コクチバス

Micropterus dolomieu

サンフィッシュ科



全国内水面漁業協同組合連合会
作成：外来魚被害防止対策検討委員会

全国内水面漁業協同組合連合会作成「外来魚4種の見分け方」より

<https://www.naisuimen.or.jp/jigyou/bass.html>

※このページには他にも外来魚についてたくさんの情報が載っています。

漁業協同組合員の力で外来魚ゼロへ！

コクチバス捕獲マニュアル



岐阜県水産研究所

本書のPDFは、岐阜県水産研究所ホームページ内の「技術情報」ページに掲載しています。

岐阜県水産研究所 ホームページ
<http://www.fish.rd.pref.gifu.lg.jp/>

「ぎふすいさんけん」で検索
「岐阜水産研」

2026年 1月 5日 発行

漁業協同組合員の力で外来魚ゼロへ！ コクチバス捕獲マニュアル

発行 岐阜県水産研究所

〒501-6021 岐阜県各務原市川島笠田町官有地無番地

TEL : 0586-89-6352 FAX : 0586-89-6365